横須賀市立常葉中学校 **常葉中だよりNo.２** 令和２年(2020年) ６月１日

校長　平井　慶一郎

本校正門・昇降口付近の紫陽花が色づき始めました。
街の木々の緑も濃くなったように感じます。街行く人々の服装も、コート姿から半そで姿へ変わり、休校期間の3か月で季節は冬から春、そして初夏へと確実に移行しています。私たちの生活も今までとは違った様式が求められています。新しい生活を意識し、感染拡大防止に最大限の配慮をしながら、生徒と教師、生徒同士の人間関係を深めていきたいと思います。

本日より学校が再開されました

緊急事態宣言の解除を受け、文部科学省のガイドラインに従い、横須賀市として学校再開のための条件整備がなされ、ようやく本日より学校が再開しました。
分散登校から平常授業まで段階的に学校生活を進めていきますが、学校生活を送るうえで、様々注意しなければいけないことがあります。これは『新しい生活様式』として、生徒だけでなくすべての日本人が実行していかなければならないことになります。この3か月でずいぶんと私たちの意識も変わってきました。当たり前のことが当たり前でなくなり、まさかと思っていたことが現実となってわが身にふりかかってきます。誰がフェイスシールド着用で授業を受けると予想したでしょうか。

いつ収束するかわからないコロナ禍の中で、学校での新しい生活様式として、『夏場のマスク着用』や『フィジカルディスタンスの意識』、『友人との会話時は２ｍ程度の距離』をとったり、『昼食は前を向いたまま』、『教室に入る時は必ず手指消毒』、『教材教具の貸し借りはなし』、『教師と生徒のフェイスシールド着用』など、当たり前でなかった行動を、逆に当たり前にしていかなければなりません。学校が再開されても生徒教師ともに感染防止については気を緩めずに活動をしていきたいと思います。

心配される学習の遅れ・複数年履修も視野に

今後の授業や学校生活の進め方などは、別にプリントを発行しています。ホームページ上にもアップしています。【お知らせ】の欄をご覧になってください。６ページあります。

明日より３週間は１クラス2班編成の分散登校、4週目より弁当持参の5時間授業、7月より平常の日課に戻る予定ですが、前述の通り、私たちに油断が生じると平常授業への道筋が違うものになってきます。学校でも、家庭でも十分意識した生活を送りたいと思います。その様な中で心配されるのが授業の遅れです。文科省は、1年間でやるべき内容を複数年で、つまり1年でできなかったものは2年生でも、また2年生でやりきれない内容は3年生でも履修できるように柔軟な対応を許可しています。ただ3年生については卒業後に履修をすることは難しいので、教育課程を工夫して学習計画を立てる必要があります。今後、例年通りの内容ですべての行事等が実施できるかは難しい状況であることは確かです。しかしながら生徒の心の中に学習面以外で、何か大きな空白ができてしまっている現状を鑑み、行事の統合や規模の縮小などを検討し、空白を埋めるべく適切に対応していきたいと考えています。

学校平常化への大まかな道筋

６月１日・・・・・・大きな部屋でフィジカルディスタンスをとりＨＲ
６月２日～１９日・・クラス2班編成で午前授業と午後授業を交互に3時間実施（同じ内容の授業です）
６月２２日～３０日・45分5時間授業（６／２２から弁当持参・牛乳給食もこの日から）
７月１日以降・・・・平常通りの授業

＊教師・生徒ともに当面はフェイスシールドを着用して授業を行います。生徒用は学校で準備します。
＊明日より帰宅後すぐに洗濯ができるようにジャージでの登校を許可します。どちらでも構いません。
＊朝必ず検温してください。また体調不良の場合は欠席させてください。欠席する時は必ず学校へ連絡してください。欠席理由は一切表に出しません。また、早退の場合は保護者と連絡がついてからとします。ご協力ください。
＊登校後の様子を観察し、生徒の心身状況の把握に努め、スクールカウンセラーと連携しながら心のケアを図ります。気になる場合はご連絡ください。
＊部活動は現段階では未定です。１年生の仮入部期間は設ける予定です。

教育目標
共に学び　共に喜び　共に誇れる
常葉中学校を築く

横須賀市立常葉中学校
〒238-0004　小川町１８
☎８２５－７４１０